

1 2. ワーク&ライフサポート（生活面での支援）

1 2-1. 附属病院による女性教職員のための妊婦健診支援

女性は約 8 ヶ月の妊娠中、たとえ経過が順調であっても計 15 回程度の妊婦検診を受けなければならず、その都度、遠方の病院に受診に行くことの負担は大きい。そこで、大阪大学医学部附属病院の産科婦人科は、平成 20 年 7 月より学内の教職員を対象とした妊婦健診支援事業を開始した。

事業の目的は、本学の女性教職員がキャンパス内で妊婦健診を予約して受けられることにより、健診および通院のためにかかる時間を節約し、ワーク・ライフ・バランスの実現を支援することである。また、出産は、医学部附属病院でもいわゆる里帰り出産でも可能とした。

女性研究者キャリア・デザインラボでは、希望者の予約申込を受け付け、医学部附属病院保健医療福祉ネットワーク部と連携して予約業務を行っている。多様な人材活用推進委員会と保育園のホームページおよび学内ポータルサイトに掲載し、また下記のようなポスターを掲示し周知を図った。

実施曜日：毎週火曜日 13:30～15:00（祝日は除く）

対象者：学内の女性教職員（常勤・非常勤を問わない）

平成 20 年度は、5 名の利用があった。

平成 21 年度は、11 月現在で利用者は 2 名である。

なお、産科婦人科の協力を得て、妊婦健診のみならず、産後の体調不良等も視野に入れた、より広範な「女性研究者サポート外来」体制を整備した。

平成 17 年通称学内妊婦健診制度を女性研究者支援センターが運営
【20 年度に際しては「研究支援センター」連携の形式】

大阪大学女性教職員のための 妊婦健診支援

大阪大学の女性教職員のワーク・ライフ・
バランス実現のため、大阪大学医学部附属病院
の産科婦人科において、妊婦健診が受けられる
よう支援事業を実施します。

実施曜日： 毎週火曜日 13:30～15:00（祝日は除く）
担当医師： 大槻一友医師（代診の場合もあります）
対象者： 学内の女性教職員
（常勤・非常勤を問わない）
申込方法： 健診を希望される方は、予約申込書に
記入のうえ、女性研究者キャリア・
デザインラボまでお申し込み下さい。
予約手続き完了後、ご連絡いたします。

注）1. 出産される病院は、医学部附属病院でもご自身予約された
病院へのいわゆる里帰り出産でも可能ですので、担当医師
にご相談ください。
2. 本型の妊婦健診日は他にもありますが、この妊婦健診支援
事業は、火曜日のみが予約可能となっています。
3. 健診日には、保険証と母子手帳（すでに交付を受けた
場合）をご持参ください。
4. 原則的として、初診料相当額 2,700 円、健診料 2,500 円が
必要です。

12-2. 学内保育園の整備

第I章に記したとおり、学内保育園は大阪大学が中ノ島から現在の場所に移ったところから存在し、自主運営ではあるが約40年の長い歴史がある。その保育理念を継承して、自主運営から大学運営に切り替えたのが、本プロジェクト中の大きな成果である。運営形態の変更と同時に、建物の新築・改築、総定員の増員（44名から99名）、保育年齢の引き上げ、体調不調児対応などを実現した。現在、ほぼ定員に近い利用がある。

平成20年4月大阪大学運営として吹田地区に開園した「たけのこ保育園」は、建物を新築した。続いて「まきば保育園」の建物を改修した。まきば保育園では0～2歳児クラス、たけのこ保育園では0～5歳児クラスまで受け入れ、両園とも早朝保育（7：30～8：00）、延長保育（18：00～20：00）、休日保育（土曜日、8：00～18：00）を実施した。さらに、看護師の常駐により体調不調児の保育に備えると共に、栄養士を配置して独自の献立立案に基づいた給食提供を実施している。

さらに、平成20年5月に保育園に関する専用ホームページを開設した。ホームページには、総長メッセージ、運営理念・保育理念、保育基本方針、保育施設規程、保育園概要、年間行事予定、申込方法、保護者の声、保育園Q&Aなどを掲載すると同時に、入園申し込みをホームページから受け付けるようにした。ボランティア募集も行っている。

(<http://www.hoikuen.osaka-u.ac.jp/index.html>)

①2 保育施設の園児定員・職員構成（平成21年度）

・「たけのこ保育園」園児定員

0歳児：20名、1歳児：20名、2歳児：10名、
3歳児：10名、4歳児、5歳児：15名

・「まきば保育園」園児定員

0歳児：8名、1歳児：8名、2歳児：8名

・「たけのこ保育園」職員構成

園長、主任、保育士、栄養士、調理師、看護師、事務職員

・「まきば保育園」職員構成

園長、主任、保育士、調理師、看護師及び事務職員（たけのこ保育園と兼任）

② 予算的措置の内容

・「たけのこ保育園」建設経費：約2億480万円

・「まきば保育園」改修経費：約4千260万円（たけのこ保育園ウッドデッキ含む）

・建設費：（財）21世紀職業財団からの助成金：約2千300万円

③2 保育施設運営必要経費（平成20年度）

・事業費等運営費：約1億4,200万円

保育料等収入：約5,800万円

大学からの予算：約8,400万円【（財）21世紀職業財団からの助成金729万円含む】



新築された「たけのこ保育園」



改修された「まきば保育園」

また、園児の健康を管理するために、医学部附属病院及び歯学部附属病院との連携により、年2回の健康診断と年1回の歯科健診を実施している。これらに加えて、園児の心身の発達について保護者が日常心配なことを相談でき、専門医（医学部教授）からアドバイスを受けられる「すくすく相談会」を不定期に（1, 2ヶ月に1度の頻度で）実施している。この会では、母親が、子供の発達状況について気になる点を専門医および2名のアシスタントに説明し、園児のクラス担任と園長が保育園において感じていることをそれに加えることにより、要点を具体化して意見交換・相談を行っている。

12-3. 女性研究者キャリア・デザインラボによる各種相談受付

女性研究者キャリア・デザインラボでは、研究支援員制度利用者やコミュニティ☆ラボ会員などを通して、いろいろな相談にのるよう窓口を開いている。

これまでに、女性研究者支援員制度の利用者から、研究室内のパワーハラスメントに関する相談1件、保育所に関する相談1件、育休代替要員に関する相談1件、育児休業後の復帰に関する相談1件があった。大阪大学内には、現在のところセクハラ以外の相談窓口がないので、このような幅広い対応は必要であると思われる。